

# 一 岳村誌 下巻 目次

表紙空押図柄 亀子 誠

見返し (表) 明治九年の村明細図  
(裏) 現在の村図

凡例  
執筆分担

## 歴史編

### 第一章 原 始

- 一 御岳山の沢水……………3
- (一) 自然の様子と遺跡……………3
- (二) 三岳村における遺跡分布の概要……………8
  - 1 西野川流域の遺跡……………8
  - 2 白川流域の遺跡……………13
  - 3 本洞川流域の遺跡……………13
  - 4 王滝川流域の遺跡(三河川合流点まで)……………14
  - 5 西野川、王滝川、本洞川合流地点付近の遺跡……………15
  - 6 王滝川流域の遺跡(三河川合流点下流)……………16
- 二 三岳村のあけぼの……………24
  - (一) 日本列島のなりたちと私たちの祖先……………24
  - (二) 御岳山麓のあけぼの……………26
  - (三) はじめて村に住んだ人びと……………28
- 三 若宮遺跡の人びと……………31
  - (一) 縄文時代と人びとのくらし……………31
  - (二) ムラの発展―縄文時代早前期の三岳村―……………34
  - (三) 若宮遺跡に住んだ人びと―縄文時代中期の三岳村―……………36

	四 ムラの衰退―縄文時代後 晩期の三 岳村―……………	49
	四 稲をもった人びと……………	51
	(一) 弥生時代と人びとのくらし……………	51
	(二) 三岳村の弥生時代……………	53
	五 あたらしい村づくり……………	55
	(一) 遺跡から見た木曾谷の古代……………	55
	(二) 三岳村の開発……………	59
<b>第二章 中 世…………… 63</b>		
一 概 説…………… 63		
	二 木曾義仲の挙兵……………	66
	(一) 義仲の木曾雌伏……………	66
	(二) 義仲の挙兵と信濃源氏……………	69
	(三) 横田河原の戦い……………	71
	(四) 義仲の北国の陣……………	72
	(五) 京都における義仲……………	73
	(六) 義仲の最期……………	75
<b>三 義仲の子どもと木曾氏…………… 76</b>		
	(一) 御嶽神社の棟札……………	76
	(二) 木曾氏系図……………	79
	(三) 義仲の子どもと三留野 沼田両氏……………	87
	(四) 藤原姓木曾氏……………	89
	四 戦国時代の木曾……………	94
	(一) 木曾氏の領国経営と家臣団……………	94
	(二) 福島城と黒沢 三尾の家臣団……………	102
	1 福島城…………… 2 三尾氏…………… 105	
	3 桑原氏…………… 108 4 三尾原氏…………… 109	
	5 上村氏…………… 110 6 木戸氏…………… 113	
	7 井原氏…………… 115 8 黒沢田中原氏…………… 116	
	9 合戸原氏…………… 121 10 小島氏…………… 123	
	11 下の殿…………… 124	
	(三) 王滝合戦と三尾五郎左衛門重国……………	124
	(四) 鳥居峠の合戦と上村作左衛門……………	127
	1 鳥居峠の合戦…………… 127	
	2 上村作左衛門の力戦…………… 128	

	(五) 三岳村の城砦……………	130
	1 和田砦……………	130
	2 小奥砦……………	132
	3 黒沢砦……………	135
	(六) 木曾義昌夫人武田氏……………	137
	五 中世文化の面影……………	143
	(一) 三岳村の鰐口……………	143
	(二) 三尾阿弥陀堂の阿弥陀如来座像……………	144
	(三) 御嶽神社若宮三十六歌仙板絵……………	145
	(四) 木曾氏遺物……………	148
	第三章 近世……………	151
	一 尾張藩の木曾支配……………	151
	(一) 関ヶ原の役と木曾衆……………	151
	(二) 木曾代官山村氏……………	152
	(三) 尾張藩の木曾支配機構……………	154
	1 村支配と置目……………	158
	2 高札……………	167
	二 村落制度……………	171
	(一) 村落の発達と黒沢 三尾両村の成立……………	171
	(一) 村の構造と戸口……………	174
	1 村の構造と村民……………	174
	2 戸口の変遷……………	177
	(三) 村の構成……………	185
	1 村の役人……………	185
	2 五人組制度……………	191
	3 村の入費……………	192
	三 土地制度……………	209
	(一) 木曾の耕地と山林……………	209
	(二) 検地と耕地面積……………	211
	(三) 山林……………	224
	四 年貢 課役……………	225
	(一) 年貢……………	225
	1 はじめに……………	225
	2 享保検地以前の年貢……………	228
	3 検地実施後の年貢……………	234
	(二) 課役……………	245
	1 公役……………	245
	2 村役……………	267
	五 産業経済……………	272
	(一) 概観……………	272

(一) 農 業 ……………	275
1 耕地とその利用……………	275
2 農作物……………	282
(二) 木曾馬の生産……………	287
1 木曾産馬と貢馬制度……………	287
2 山村氏の毛附馬制度……………	288
3 生産頭数と販路……………	294
4 馬小作制度……………	296
(四) 山林と住民の生活……………	301
1 明山と其の利用……………	301
2 明山と入会権……………	340
(五) 巢山と巢主……………	351
(六) 柚と日用……………	356
1 はじめに……………	356
2 柚と柚組……………	357
3 柚の仕事……………	359
4 柚の道具……………	361
5 柚と信仰……………	361
6 木曾式伐木連材法と日用……………	364
(七) 山林の取締りと盜背伐……………	365
(八) 鉄砲と猟師……………	374
(九) 菓種の採取と栽培……………	380
(一) 御嶽をめぐる黒沢 王滝両村の係争……………	385
六 交 通……………	393
(一) 村の主な道路……………	393
(二) 橋と渡し場……………	395
1 概 観……………	395
2 本社橋……………	396
3 橋渡の渡しと常盤橋……………	399
4 猿 橋……………	401
5 倉本湯川橋……………	402
6 白川橋と赤岩巢橋……………	406
7 小島の渡し……………	407
(三) 一里塚……………	407
(四) 駄馬と持子……………	408
1 駄 馬……………	408
2 持 子……………	410
(五) 昔 の 旅……………	411
1 紀行文等に見る旅……………	411
2 村の人たちの旅……………	415
七 災害と異変……………	431
(一) 災害年表……………	431
(二) 水 害……………	433

(三) 飢饉と救恤	435
1 凶作と飢饉	435
2 寛永の飢饉	435
3 享保の飢饉	436
4 天明の飢饉	437
5 天保の飢饉	442
(四) 火災	449
(五) 犯罪ともめ事	452
八 神社と寺院	458
(一) 概説	458
(二) 神社	461
1 御嶽神社(本社と若宮)	461
2 八幡宮	473
(三) 寺院と堂宇	477
1 大泉庵(現大泉寺)	477
2 普門院(現普門寺)	483
3 三尾阿弥陀堂	491
第四章 近代	493
一 戸数 人口	493
(一) 戸籍制度の沿革	493
(二) 世帯数と人口の推移	495
二 行政	503
(一) 維新の足音	503
1 水戸浪士通行の騷擾	503
2 越後戦争	508
(二) 明治の改革	512
1 明治初年の世情と体制	512
2 筑摩県の成立	513
3 長野県の成立	514
4 行政制度の改変	514
5 黒沢村 三尾村の合併と分村問題	516
6 三岳村成立当時の村勢概要	522
7 地租改正と税制	524
(三) 御料林事件(官有地引戻し運動)と御下賜金の下付	527
1 事件の概要	527
2 三岳村の引戻し運動	533
3 事件の終結と御下賜金の下付	545
1 概説	495
2 自然動態	497
3 地区別の推移	499
4 年齢別人口	501

4	恩賜基本財産の設定と恩賜記念林の造成	550
5	御下賜金記念日	552
(四)	三新法時代(明治12↓21)の地方自治	555
1	郡制と郡役所の設置	555
2	戸長役場の設置	556
3	県会議員の選出	557
4	村会の開設	558
5	三新法の改正	558
(五)	町村制施行以後の行政	561
1	新しい町村体制の形成	561
2	新町村制下における村会と役場	564
3	財産区と区会	572
4	行政区	575
5	郡会	577
6	日清・日露戦時の行財政	577
7	町村制改正	578
(六)	川合峠の開鑿	579
(七)	御岳街道と村内道路の改修	583
1	御岳街道	583
2	村内道路	586
3	牧尾橋の架設	587
4	本社橋の掛け替え	588
5	御岳街道から開田村へ	589
(八)	森林鉄道問題と経過	590
(九)	水力発電問題	594
1	概要	594
2	地域の公益問題	595
3	三浦貯水池問題	611
4	西野川水利使用問題	615
5	村内の発電工事	622
(十)	村役場(旧)の建築	626
(十一)	信飛鉄道敷設運動誌	627
(十二)	三岳国民学校火災による対応と建築	629
(十三)	御嶽郷開拓団	630
1	開拓団送出国文書	630
2	開拓団送出国文書	631
(十四)	戦後の復興計画―三岳村総合開発	635
(十五)	愛知用水牧尾ダム建設と村	641
1	国家的事業	641
2	計画の概要	642
3	地元の状況と反対運動	644
4	ダム地点と型式の変更	644

5	地元の対応と交渉の経過	645	(二)	保健衛生	702
6	地元への影響	656	1	はじめに	702
7	残村再建と公共補償	660	2	本村における伝染病とその予防	702
(六)	簡易上水道設置事業	662	3	衛生組合	706
1	対策	662	4	隔離病舎の建設	707
2	工事の経過	668	5	寄生虫駆除	708
(七)	観光政策と運営	669	6	医療機関	709
1	概説	669	7	保健婦	712
2	御岳登山道の整備	670	(三)	治安	715
3	三岳村観光協会	673	1	消防	715
4	木曾御岳観光開発株式会社と施設	673	2	警察	727
5	その他の村有施設	675	3	交通安全	728
6	スキー場の建設	677	(四)	兵事	730
(八)	歴代村長 助役 収入役 村会議員名簿(町村制施行以後)	680	1	はじめに	730
(一)	厚生福祉	687	2	徴兵制の沿革	731
1	戦前の福祉	687	3	徴兵検査	732
2	戦後の福祉	688	4	戦時の状況	732
3	心身障害者福祉	690	5	英霊之碑の建立	739
4	児童福祉	690	(五)	水害と治山治水	740
5	国民年金	694	1	水害を起す地形的要因	740
6	国民健康保険	694	2	過去の災害記録	740
7	高齢者福祉	696	3	治山治水	750
8	広域福祉行政	699	(六)	御岳山噴火	755
			1	はじめに	755
			2	噴火の概要	756

3	村の対応	759
4	本村における被害状況	765
5	村の災害対策	767
6	火口周辺を除き登山再開	771
7	資料	774
(七)	長野県西部地震	780
1	はじめに	780
2	地震の概要	781
3	本村の対応	786
4	災害復旧	797
5	長野地方気象台発表の地震情報	804
6	地震を経験して	805
四	産業経済	807
(一)	はじめに	807
(二)	農業	814
1	立地条件と概要	814
2	明治期における水路、溜池の造成と開田の進捗	815
3	農業の変遷	816
4	農地改革	820
5	農業従事人口と農家数の減少	821
6	農業委員会	823
(三)	畜産	824
1	概説	824
2	馬	826
3	牛	832
(四)	養蚕	837
(五)	林業	843
1	概説	843
2	林業の諸施策	847
3	区有林	847
4	恩賜記念林	847
5	官行造林	849
6	入会権	851
(六)	果実栽培	852
(七)	商工業	855
(八)	産業諸団体とその変遷	859
1	勸業会	859
2	産業組合	859
3	農会	860
4	農業会	861
5	農業協同組合(農協)	862
6	農業共済組合	864
7	森林組合	864
(九)	御岳山の営業	865
1	休泊施設と従業者の移り変わり	865
2	登山者数の推移	870
3	登山関係諸物価 料金の推移	873
4	飲食営業に携わった人びと	876



5	御岳山と石屋……876	6	百草 奇応丸……879
<b>五 交通 運輸 通信……883</b>			
(一) 交通 運輸 ……883			
1	森林鉄道……883	2	道路……890
3	橋 梁……898	4	乗り物の変遷……904
(二) 通信 報道 ……908			
1	通信……908	2	放送……914
3	報道……917		
<b>六 教育 文化 体育……919</b>			
(一) 小学校教育 ……919			
1	はじめに……919		
2	木曾郡下の維新前の教育……919		
3	学制時代の教育……920		
4	学制の廃止と教育令……925		
5	新小学校令公布……932		
6	教育勅語 御真影の下賜……934		
7	小学校令改正……935		
8	改正小学校令発布……937		
9	大正期の教育……949		
(二) 中学校教育 ……1002			
1	新制中学校の発足……1002		
2	三岳中学校……1002		
(三) 社会教育 ……1024			
1	はじめに……1024	2	公民館……1024
3	青年団(会)……1036	4	婦人会……1043
(四) 文化(文化財行政) ……1046			
1	国 県の文化財指定について……1046		
2	三岳村の指定文化財……1047		
3	以前天然記念物であったもの……1052		
(五) 体 育 ……1053			
1	体育協会の設立(戦前)……1053		
2	戦後の三岳村体育協会と事業……1053		
10	昭和初期の教育……956	11	戦後—現在の教育……977
12	P T Aの発足と活動……1000		

## 三岳村編年史

明治…1061

大正…1069

昭和…1072

## あとがき